

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年4月10日

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	C		
横断的な課題	「地方回帰」の流れを捉えた新たな暮らし方・働き方の提案による移住定住の推進・地域人材の確保						
地域重点政策	4 北アルプス地域を選び、生き生きと活動できる地域づくり					北アルプス地域振興局	
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属	企画振興課、商工観光課	
事業名	北アルプス地域魅力発信事業				電話	0261-23-6501、0261-23-6523	
					E-mail	kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp kitachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	移住希望者等に北アルプス地域を選択してもらうため、各種媒体により移住定住情報等を発信する。 また、県外事務所等の信州暮らし案内人(移住推進員)と北アルプス地域が情報交換する場を作り、両者が移住希望者への相談に活用する。					
	現状と課題	○情報発信 移住に係る情報収集はWEB(スマホ・PC)が多いといわれる反面、振興局の移住ページの閲覧数は落ちている。 ○圏域移住パンフレットの増刷 平成30年度に作成。記事内容や構成、完成度など移住希望者や県外移住サポートデスクから高く評価を得ている。R3年度増刷分はほぼ配布済みのため、新たな増刷や記事の時点修正が必要。 ○信州暮らし案内人との情報交換 首都圏に向けよりリアルな北アルプス地域の魅力を発信するためには、実際に現地を見てもらい、実際に移住してきた人の経験談や地域の雰囲気把握することが重要である。 ○隣接県・圏域と連携した地域の魅力発信 隣接県・圏域と連携して作成し、好評な広域観光マップ「ながの・にいがた うみやまイラストマップ(な・にマップ)」の在庫がなく、内容も時点更新が必要。					
	内容 (変更後の内容)	○情報発信 北アルプス連携自立圏とも連携し、振興局移住ページでの情報発信に加え、動画・SNS等を利用した情報発信を行う。 ○圏域移住パンフレットの増刷 (1)実施方法 北アルプス連携自立圏と連携し内容の時点修正等を行い、印刷製本する。 (2)掲載内容 ・北アルプス地域の基本情報(アクセス、気象、医療、保育等) ・各5市町村ごとの移住者への取材記事及び市町村の移住施策について ・地域おこし協力隊紹介ページ (3)仕様 A3二つ折り、16ページ、フルカラー ○信州暮らし案内人との情報交換会 (1)実施時期 令和5年1月頃 開催見合わせ (2)実施内容 管内市町村移住担当者による取組の紹介・意見交換 ○広域観光マップ「ながの・にいがた うみやまイラストマップ」の内容更新、増刷 ・隣接地域(新潟県上越・糸魚川、長野県長野、北信)と連携し、好評な広域観光マップを更新して増刷し、地域の魅力を発信する。(北アルプス地域振興局分6,400部)					
	事業期間	令和4年4月 ～ 令和5年3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	情報発信	HP等での情報発信	0				
	圏域移住パンフレットの増刷	移住パンフレットの作成・配布	102,923				
	信州暮らし案内人等との情報交換	情報交換会の開催	0				
	隣接県・圏域と連携した地域の魅力発信	「ながの・にいがた うみやまイラストマップ」の内容更新、印刷	0	(長野地域振興局商工観光課執行)			
合 計		102,923					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	振興局移住ページの閲覧数		13,500回	12,769回	○ 達成		
	移住希望者等へのパンフレット配布数 (印刷部数-各市町村・地域振興局の在庫数)		印刷部数の1/2	約6割	● 一部達成		
	参加した信州暮らし案内人等の満足度(5段階中4以上)		回答者の1/2	開催見合わせ	○ 未達成		
	広域観光マップを配布する管内の観光事業所・施設数		15施設	15施設			

事業実績・成果	○情報発信 イベント情報や新たに作成した動画等について、地域振興局HP、田舎暮らし「楽園信州」推進協議会SNS、地元紙等で情報発信を行った。 ○圏域移住パンフレットの増刷 内容を一部更新して800部作成し、移住相談イベントや窓口等で移住希望者に情報提供を行った。(配布場所:市町村相談窓口、ふるさと回帰支援センター、銀座NAGANO、名古屋観光情報センター、大阪観光情報センター等) ○信州暮らし案内人との情報交換会 各地の信州暮らし案内人と地域の新着情報や課題等についてオンラインで意見交換を行う情報交換会を予定したが、日程等の条件が合わず開催を見合わせた。 ○広域観光マップの増刷 「ながの・にいがた うみやまイラストマップ」を6,400部増刷して配布した。イラストマップは人気があり多くの方に手に取っていただいた。 以前は100～200人／年だった移住者数(H27～R元)が、直近3年では300～400人／年ほど(R2～R4)で推移しており、市町村を含めた継続的な魅力発信が寄与しているものと推察する。移住を検討している方のもとに情報が届きやすいことが重要であり、引き続き地域の魅力の発掘と発信を行っていく。
今後の方向性	- 引き続き、市町村と連携して地域の魅力を発信していく。 - 圏域移住パンフレットは時点修正により増刷してきたが、内容の刷新を検討する。